

「成人の8人に1人」の割合で発症!!

もしかしたら、あなたも CKD (慢性腎臓病) ?!



CKD (慢性腎臓病) とは？

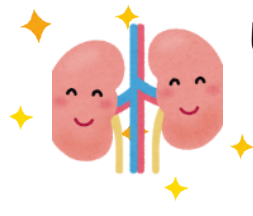
・腎臓の機能が低下している状態 (※①尿たんぱくが (+) 以上、②eGFR が 60 未満など)

▼①、②の特定健康診査の結果にチェックしてみましょう。

<p>①尿たんぱく</p> <p>※正常は尿たんぱく (-)。 腎臓の血管が障害されると、 必要なたんぱくが おしっこに漏れ出してしまう。</p> <p><input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> ± <input checked="" type="checkbox"/> + <input type="checkbox"/> 2 + <input type="checkbox"/> 3 +</p>	<p>②eGFR</p> <p>※腎臓にどれくらいの能力が 残っているかを示した数値。 年に1%程度低下するが、 この値が低いほど、腎機能が 低下していることを表す。</p> <p><input type="checkbox"/> 60 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 45~59 <input type="checkbox"/> 30~44 <input type="checkbox"/> 15~29 <input type="checkbox"/> 15 未満</p>
---	---

・初期には自覚症状はありませんが、進行するとむくみや夜間尿、貧血、
倦怠感、息切れなどの症状が現れます。

・さらに進行すると、人工透析や腎移植が必要になる場合も。



しかし、**早め**に適切な対応をすれば、

腎機能が回復する可能性もあります!!



腎臓の状態と CKD の危険性などを詳しく知るために、
もう一度検査をすることをおすすめします♪

【検査内容】 尿検査…特定健診で実施した尿検査よりも、詳しく腎臓を調べる検査です。

①尿蛋白定量検査、②尿中クレアチン量の測定、③①、②の結果から比を算出

【費用】 保険診療の自己負担分

【検査後】 **治療**：かかりつけ医と専門医が連携して、今かかっている病気（糖尿病、
高血圧、脂質異常症など）の状態をみて必要な検査や治療法を
見直す必要がないか、などを判断します。

生活習慣の改善：あなたが日常生活で実践できる健康づくりのコツを
市の保健師と一緒に考えます。